

東海防衛だより



2017 / Ⅲ
東海防衛支局



東海防衛支局の業務・取組み/東海3県の自衛隊の動き

- ◆ F-35A 戦闘機御披露目式・初試験飛行
- ◆ 明野駐屯地に対戦車ヘリコプター初の女性パイロット誕生
- ◆ 岐阜基地広報館リニューアルオープン
- ◆ 防衛施設周辺対策事業
- ◆ 陸・海・空自衛隊の音楽隊による音楽の祭典
- ◆ 三河港艦艇広報

東海3県の防衛産業・技術基盤

- ◆ メイラ株式会社（岐阜県関市）

地本だより

平成29年度優秀工事の顕彰

東海防衛支局長 着任挨拶



F-35A 戦闘機御披露目式・初試験飛行



御披露目式でのテープカット



祝辞を述べる若宮防衛副大臣（当時）

平成29年6月5日、三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム製作所小牧南工場において、ロッキード・マーティン社と三菱重工業株式会社の共催によるF-35A戦闘機（国内生産初号機）御披露目式が行われました。式典当日は、若宮防衛副大臣（当時）をはじめ、官民の関係者や多数の招待者の出席のもと、祝辞、テープカットなどが行われました。

このF-35A戦闘機は、F-4戦闘機の後継機として導入されるもので、ステルス性に優れ、制空戦闘能力や空対地攻撃能力などを備えた多機能な機体であるといわれています。

また、同年6月13日には、愛知県営名古屋飛行場から約2時間の初試験飛行が実施されました。



名古屋駅の高層ビル群を背に初フライト



試験飛行を終え帰還



F-35A 戦闘機 主要諸元

主要スペック	乗員	1人
	全幅	10.7m
	全長	15.6m
	全高	4.4m
エンジン	名称	F135-PW-100
	搭載数	1基
性能	最大速度	マッハ約1.6
	航続距離	約2,200km
	武装	25mm機関砲 他

明野駐屯地に対戦車ヘリコプター初の女性パイロット誕生



対戦車ヘリコプターAH-1S※に搭乗する半浴3佐



報道各社の取材



訓練前の準備



対戦車ミサイル射撃訓練

陸上自衛隊航空学校

(明野駐屯地)

陸上自衛隊航空学校は、三重県伊勢市に所在する本校に加え、茨城県土浦市と栃木県宇都宮市の2ヶ所に分校を有し、幹部自衛官に対する運用教育やヘリコプターの操縦士・整備員を育成するための教育訓練を行なっています。

自衛隊では、平成5年に女性自衛官に対し全ての職域を開放しましたが、母性の保護や男女間のプライバシーの確保等を総合的に勘案し、一部の配置については制限をしていました。対戦車ヘリコプター飛行班は、近接戦闘の可能性等の観点から、その制限を受けていました。

平成28年3月、配置制限の見直しが行われ、対戦車ヘリコプターのパイロットにも門戸が開かれました。半浴(はんさこ)仁美3佐は、平成29年7月に3ヶ月間の幹部戦闘操縦課程教育を無事修了し、女性として初めて、同機のパイロットの資格を取得しました。

半浴3佐に一問一答

Q1：陸上自衛隊のヘリコプターパイロットになった動機を教えてください。

A1：高校時代に災害救助の場面を見てヘリコプターのパイロットを目指し、一番早くヘリコプターのパイロットになる方法を考えた結果、陸上自衛隊に入隊しました。大学へ行くよりも1年早くパイロットになれると思いました。

Q2：昨年3月、従来、女性には配置が制限されていた「対戦車ヘリコプター飛行班」への配置が開放されました。このニュースを聞いたときどう思いましたか。

A2：新しい道が開かれたことで、新たな挑戦をしたいという気持ちが目覚めました。

Q3：女性パイロットとしての苦労はありますか。

A3：特にありません。強いて言うなら、女性だからといって、特別扱いされることがつらいです。そう言われないように努力しています。

Q4：小さいお子様がいらっしゃるのですが、家庭と仕事の両立について教えてください。

A4：部隊や同じ自衛官である夫の協力を得て楽しくやっています。昨年の熊本地震の際、夫婦揃って任務に就くことになり、その際に、伊勢市のファミリーサポートを利用して2人の子供を預けました。仕事ですから特に苦労ではありません。

Q5：今後の目標を教えてください。

A5：まずは、機長になることです。今は、パイロットになったというだけですから、これから更に訓練を積んで機長になりたいと思っています。そして、対戦車ヘリ操縦士としての役割を果たしていきたいと思っています。

Q6：ここ明野駐屯地には、パイロットを育成する課程があり、これからも女性パイロットが育っていくと思いますが、それらの女性パイロットへのメッセージをお聞かせ下さい。

A6：自衛隊は、人の結束力が強く、人に優しい組織だと思います。更に、航空学校は教育施設も整っているので非常にいい環境です。ですから、後輩の人たちには、女性だからできないわけではなく、やりたいことがあってそれに向かって努力をすれば必ず道は開けるんだ、という気持ちを持ってやってほしいと思います。

※「対戦車ヘリコプターAH-1S」とは、対戦車ミサイル・トウ、70ミリロケット弾、20ミリ機関砲を装備し、主として敵戦車の撃破、必要に応じて普通科部隊の地上戦闘支援に運用するヘリコプターです。



岐阜基地広報館リニューアルオープン



リニューアルされた広報館



テープカットを行う平元基地司令(中)、松谷前基地司令(左)、柳原会頭(右)

平成29年6月16日、航空自衛隊岐阜基地では基地開設60周年、各務原飛行場開設100周年を記念して、基地の歴史や活動を紹介する広報館をリニューアルオープンさせました。

セレモニーでは、平元基地司令、松谷前基地司令、柳原各務原商工会議所会頭の挨拶後、テープカットが行われました。



特攻隊員の手紙、寄せ書きなど



広報館内の展示状況

広報館内の展示品には、特攻隊の兵士の手紙、第二次大戦の開戦に関わる書物など大変貴重な品々のほか、航空機のエンジンやパイロット用の椅子などが展示されています。

※岐阜基地広報館の見学については、岐阜基地のホームページ「見学案内」をご覧ください。

防衛施設周辺対策事業

岐南町庁舎ほか複合施設



岐阜県羽島郡岐南町庁舎は、町が平成25年度から平成27年度にかけて改築工事を行い、東海防衛支局は、岐阜飛行場関連の防音助成事業として約6億円の補助を行いました。

当該庁舎は、町民に対する行政サービスのほか、公民館、保健相談センターなどの機能も有する複合施設となっています。また、町民による集会活動、幼児に対する保健指導なども行われ、多くの町民に利用されている施設となっています。



行政サービス（庁舎内窓口）

利用者の声



白を基調とした明るくてクリーンな外観で、デザインもどこにも似ていなくて特徴的だと思います。町の中心部にこのようなシンボリックな建物ができたことは町民としても誇らしく思います。



町民の集会（公民館）



文化祭作品展示（公民館）

町民が利用する施設は1階に集約されていて、すごく使い勝手がいいです。各施設は機能的に配置されていて、利用者目線で造られているなど感じました。



妊婦交流会（保健相談センター）

岐南町担当者の声

平成22年度から動き始めた新庁舎建設事業も、完成・開庁から早2年を迎え、感慨深いものがあります。折りしも、昨年熊本地震が発災し、行政庁舎の耐震化が強く求められる現状の中、周辺自治体の中でもいち早く建て替えを実施できましたことに、とても感謝しております。

陸・海・空自衛隊の音楽隊による音楽の祭典

本年、5月から7月にかけて、陸上自衛隊第10師団並びに愛知・岐阜・三重地方協力本部の主催による陸・海・空それぞれの音楽隊のコンサートイベントが各地で開催されました。

第10師団創立55周年サマーミュージックフェスティバル（6月17日）〔第10音楽隊〕



平成29年6月17日、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、陸上自衛隊守山駐屯地の第10音楽隊による「第10師団創立55周年サマーミュージックフェスティバル」が開催され、約1,600名の観客が訪れました。フェスティバルは、2部構成で行われ、第1部は、ソプラノ歌手豊田かおり氏との共演、第2部は、陸上自衛隊豊川駐屯地の三河陣太鼓との共演、さらに守山東中学校合唱部も加わり、多くの観客を魅了しました。

ふれあいコンサート2017（6月24日）〔海上自衛隊舞鶴音楽隊〕

平成29年6月24日、三重県総合文化会館大ホールにおいて、自衛隊三重地方協力本部の主催による「ふれあいコンサート2017」が開催され、約1,400名の観客が訪れました。コンサートでは、海上自衛隊舞鶴音楽隊、青山高校吹奏楽部及び三重大学応援団の演奏等が行われました。



陸上自衛隊中央音楽隊 愛知県演奏会（5月25日）

〔陸上自衛隊中央音楽隊〕



平成29年5月25日、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、自衛隊愛知地方協力本部の主催による「陸上自衛隊中央音楽隊愛知県演奏会」が開催され、約1,600名の観客が訪れました。中央音楽隊は、国賓などに対する「特別儀仗演奏」の任務が付与されている日本で唯一の音楽隊です。演奏会は、2部構成で行われ、第1部は、地元豊田市出身の松永陸士長が司会を行うとともに、ソプラノ歌手として、歌を披露し、第2部は、陸上自衛隊マーチメドレーの演奏が行われました。



ぎふ自衛隊音楽まつり（7月2日）〔航空自衛隊中部航空音楽隊〕

平成29年7月2日、長良川国際会議場において、自衛隊岐阜地方協力本部の主催による「岐阜自衛隊音楽まつり」が開催され、約1,300名の観客が訪れました。音楽まつりは、2部構成で行われ、第1部は、陸上自衛隊宇治駐屯地鳳凰太鼓による太鼓の演奏と関市立関商工高等学校吹奏楽部によるマーチング、第2部は、航空自衛隊中部航空音楽隊による演奏が行われました。



三河港艦艇広報

潜水艦「まきしお」

平成29年6月10日と11日、愛知県三河港蒲郡地区の浜町ふ頭において潜水艦「まきしお」の一般公開が行われ、約10,600名の来場者で賑わいました。



三河港に接岸した潜水艦「まきしお」



蒲郡市長の挨拶



潜水艦に乗艦する来場者



掃海艇の乗船待ちの来場者

掃海艇「えのしま」「ちちじま」

平成29年7月8日と9日、愛知県三河港蒲郡地区の竹島ふ頭において掃海艇「えのしま」「ちちじま」の一般公開と体験航海が行われ、約5,100名の来場者で賑わいました。



竹島を背に体験航海に出港する掃海艇「ちちじま」

東海3県の防衛産業・技術基盤

東海防衛支局では、防衛省・自衛隊が使用する装備品を調達するにあたり、製造工程での審査や、最終的な完成検査を行っています。そこで、このコーナーでは、我が国の防衛力の基盤となる製造企業の技術力を紹介します。

【メイラ株式会社】（岐阜県関市）

～ 天・地・人の領域に及ぶ事業を展開し、社会の進歩と繁栄に貢献する ～

昭和初期、飛行訓練中の機体の不具合により、パイロットの殉職が相次ぎました。その一因として、航空機用のねじ（ボルト類）を生産する技術力の欠如に起因した、多数の不良品の使用があげられました。これに強く心を痛めた山本五十六海軍中将（後、元帥）が、故郷である新潟県長岡市の同士に声をかけ、これに応えた大橋新治郎氏が中心となって、1936年（昭和11年）に名古屋螺子製作所を設立したのが「メイラ株式会社」の始まりです。同社は、1987年（昭和62年）に生産拠点を現在の岐阜県関市に移し、2000年（平成12年）に現在の社名に変更しました。

1 天から地、そして人へ展開

航空機用のねじ（螺子）から始まったメイラですが、1952年（昭和27年）に自動車用ねじに進出し、1994年（平成6年）からは骨折手術に用いられるプレート類（金属製の板）や特殊ねじ（スクリュウ）の製造に着手しています。「ねじ」は、“もの”を結合する際に使用されるものであり、高い振動や圧力がかかった状態においても緩むことなく結合し続けることや必要な時には解除できることが要求されます。このためには、形状、材質が重要であり、ミクロン単位の精度を保証できるよう工程を管理し、緻密に温度管理された熱処理等による製造を行っています。加えて、自動車部品では、高品質の製品を大量かつ安価に製造するための工程設計を行い、航空機部品では、少量かつ多品種の製品の品質を高い精度で維持するため、強度試験、疲労試験、冶金的試験、目に見えない欠陥を発見するための非破壊検査等の試験を経て製品を出荷しています。また、医療部門では、いかに患者さんへの負担が少ない形状のものを製作するかという観点で製品設計を行うとともに、衛生管理の面で厳しい品質管理も行っています。同社は、このように航空機分野の「天」から自動車分野の「地」そして「人」への展開をしている企業といえます。

2 防衛装備品

同社が製造する「ねじ」のうち防衛装備品の代表的なものは、F-15の主翼に使用されている特殊なボルトの「テーパーロックファスナー」や、P-1、C-2をはじめとする各種航空機の翼胴結合ボルトがあります。特にF-2では、たった3本のボルトで胴体と翼を結合しています。この他にも、戦闘機用エンジンに使用される超耐熱ボルトやロッド（※）などがあります。これらの製品を生産するためには、上記に示した加工技術や各種試験の他、機体の軽量化の一助として軽くて、強い素材の開発も行っています。これにより、音速で飛行し急旋回等で発生する高い振動と圧力等のより厳しい環境に耐えられる高品質な製品を製造しています。このように同社の製造する「ねじ」は、航空機の安全を「黒子」として支えるものであり、その品質は日本の防衛に大きく寄与するものといえます。

※ロッド：人体に例えると腕や足などの骨に相当する部品で、例えば操縦かんの動きを翼に伝える働きをします。



メイラ株式会社 関工場

C-2用テレスコピックロッド

上段：F-15テーパーロックファスナー
下段：F-2翼胴結合ボルト

地本だより

自衛隊地方協力本部（地本）は、自衛隊を志す方やご協力・ご支援を頂ける皆様への窓口です。

愛知地方協力本部

(電話)052-331-6266

<http://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



●海上自衛隊砕氷艦「しらせ」名古屋港寄港のお知らせ

名古屋港開港110周年を記念して砕氷艦「しらせ」が寄港します。

開催日：平成29年9月29日（金）～10月2日（月）

場 所：名古屋港ガーデン埠頭3号岸壁（名古屋市）

内 容：砕氷艦「しらせ」の一般公開（3年ぶり）や音楽隊の演奏会など

岐阜地方協力本部

(電話)058-232-3127

<http://www.mod.go.jp/pco/gifu/>



●岐阜県内イベントのお知らせ

○羽島なまず祭り（羽島市）平成29年11月11日（土）12日（日）
部隊車両展示

○空自岐阜基地航空祭（各務原市）平成29年11月19日（日）
ブルーインパルス展示飛行予定（4年ぶり）

三重地方協力本部

(電話)059-225-0531

<http://www.mod.go.jp/pco/mie/>



●陸上自衛隊明野駐屯地開設62周年・航空学校創立65周年記念行事のお知らせ

開催日：平成29年11月4日（土）

場 所：陸上自衛隊明野駐屯地（伊勢市）

内 容：陸上自衛隊航空学校のホームページに逐時掲載

※詳しい情報は、各自衛隊地方協力本部にお問い合わせ下さい。

平成29年度優秀工事の顕彰

平成29年7月3日、東海防衛支局において、優秀工事の顕彰授与式を行いました。

これは、東海防衛支局が発注する建設工事等について、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事として選定し、顕彰するものです。

今回は、平成28年度に完成した工事等の中から、岐阜（26）燃料施設土木その他の工事を受注した「コアツ工業株式会社東京支店」に、当支局長から顕彰状が授与されました。

東海防衛支局長 着任挨拶

本年8月7日付で、東海防衛支局長を拝命した倉内でございます。

東海地方での勤務は初めてとなりますが、名古屋は、私が生まれ育った故郷であり、この地で勤務できることを大変光栄に思うとともに、楽しみにしております。

東海防衛支局が管轄する東海3県には、多数の重要な防衛施設や防衛産業・技術基盤が所在しております。我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中であって、自衛隊の活動の基盤を支えるこの地域は、我が国の防衛・安全保障にとって益々重要なものとなっております。

今後とも、地域の皆様のご理解とご協力を頂けるよう、防衛施設の安定的な運用や防衛装備品の確実な取得などに、しっかりと取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

東海防衛支局長

倉内 康治

29. 8. 7着任

東海防衛支局

名古屋市中区三の丸2-2-1名古屋合同庁舎第1号館

(電話)052-952-8212

<http://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>

